

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 日本ユニシス株式会社

コード番号 8056 URL <http://www.unisys.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 粕井 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長

(氏名) 大友 勝博

TEL 03-5546-4111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年12月8日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	125,869	△14.3	1,401	△66.0	1,266	△67.0	△237	—
21年3月期第2四半期	146,890	—	4,117	—	3,844	—	1,668	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	△2.48		—	
21年3月期第2四半期	17.40		17.35	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	212,243		74,012		34.3		758.32	
21年3月期	233,546		75,464		31.7		771.94	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 72,731百万円 21年3月期 74,038百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
21年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
22年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
22年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	300,000	△3.3	16,000	0.7	15,500	2.5	7,600	—	79.24	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	109,663,524株	21年3月期	109,663,524株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	13,751,202株	21年3月期	13,750,874株
-----------	-------------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	95,912,517株	21年3月期第2四半期	95,886,696株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。なお、上記の業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の4ページをご参照下さい。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、一部で持ち直しの動きがみられるものの、世界的な金融危機の影響や、世界景気の下振れ懸念などのリスク要因を抱え、先行きは依然として厳しく、不透明な状況が続いております。

情報サービス市場においても、企業業績の悪化を受け、情報システムへの投資意欲は後退傾向にあり、「先送り」、「予算削減」、および「投資対効果 (ROI) 効率の高い内容への限定」など、慎重な姿勢が続いていることから、経営環境は厳しさを増しております。

このような環境において、日本ユニシスグループは、お客さまと価値を共有するという経営コンセプト (U&U® : Users&Unisys) のもと、「高成長企業集団への脱皮」という将来ビジョンを掲げ、この実現に向け、基盤事業である「システムインテグレーション事業の強化」とともに、「ICT (Information and Communication Technology) 市場での事業領域の拡大」と「企業体質の強化」を重点施策とし取り組んでおります。

まず、事業拡大面においては、新設した各事業部門の企画部を中心に、より付加価値の高いビジネスの創出を行っております。具体的には、電気自動車 (EV) やプラグインハイブリッド車 (pHV) の充電インフラに関し、利用者認証機能等を備えた『smart oasis® (スマートオアシス)』の提供や、経済産業省や大阪府が主導する実証事業への参加を行うとともに、自動車事故削減やエコ運転を支援するICTサービス『無事故プログラムDR™ (ドライブレコーダー)』の提供を行うなど、新しいビジネスに積極的に取り組み、多数の引き合いをいただいております。

また、基盤事業のシステムインテグレーション事業に加え、ICTサービス部門と各事業部門が連携し、アウトソーシングやSaaS (Software as a Service) など、サービス利用型事業の拡大にも引き続き注力してまいりました。

これらの取り組みの一環として、印刷セキュリティ強化と印刷コスト削減、エコ対策を実現する『iSECURE® (アイセキュア) プリント管理サービス』、企業における研修業務を幅広く支援し、従来の教育用サーバ導入と比べてシステム運営コストを最大90%抑制可能な教育プラットフォーム『LearningCast™ (ラーニングキャスト)』、および、新型インフルエンザ対策を支援するパッケージサービスなどの提供を開始しました。さらに、インターネットに接続できるパソコンに専用のUSB型認証キーを挿すだけで、どこからでも企業内Webサービスに安全にアクセスできる『SASTIK®サービス』の販売体制を大幅に強化し、大手商社での採用実績をベースに積極的な事業展開を行っております。

加えて、当社は、自治体向けソリューションをSaaS化して提供するサービス (自治体ICTサービス) および自治体やNPO等が連携して地域の課題を解決するためのICTサービス (パブリックICTサービス) からなる「広域行政ICTサービス」を展開する戦略を発表しており、これにもとづき、第3四半期以降、自治体における文書管理業務の効率化を実現する『UniCity®総合文書管理システム SaaS Edition』や、災害発生時の初動期に自治体と企業の復旧活動を効果的に実現できるSaaS型危機管理情報共有システム『SAVEaid™ (セーブエイド)』の販売を開始しております。

一方、企業体質の強化面においては、技術部門を一元化し、事業戦略や商品戦略と連携した技術戦略の策定を行うとともに、グループ内の技術をより迅速に利用・適用できる環境を整備いたしました。これらの取り組みは、新たな事業機会の発掘に繋がっております。

また、新設したソフトウェア検査部は、システム開発上流工程の成果物の現物検査を実施し、不具合の早期発見を行うことで、サービス品質、採算性の向上に寄与しております。

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高はシステムサービス、ネットワークインテグレーションおよびハードウェアにて売上が減少したこと等により、売上高合計では1,258億69百万円 (前年同期比14.3%減少) となりました。

利益面につきましては、システムサービス、アウトソーシングにおいて利益率が改善したものの、売上高の減少にともない売上総利益が減少いたしました。販売費及び一般管理費が減少したことにより営業利益は14億1百万円 (前年同四半期比66.0%減少)、経常利益は12億66百万円 (前年同四半期比67.0%減少) となりました。四半期純損益につきましては、投資有価証券評価損6億52百万円を特別損失として計上したことから、2億37百万円の損失 (前年同四半期は16億68百万円の利益) となりました。

\* SASTIKは、㈱サスライトの登録商標です。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、商品及び製品、仕掛品が増加したものの、売掛金ならびに現金及び預金が減少したことから、前連結会計年度末比213億2百万円減少の2,122億43百万円となりました。

負債につきましては、買掛金の減少、コマーシャル・ペーパーの償還、借入金の返済等により前連結会計年度末比198億49百万円減少の1,382億31百万円となりました。

純資産につきましては、740億12百万円となり、自己資本比率は34.3%と、当四半期累計期間において2.6ポイント改善いたしました。

### (キャッシュ・フローの状況)

現金及び現金同等物につきましては、営業活動により得られた資金等を、ソフトウェアの取得および借入金の返済に充ちいたしました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は前連結会計年度末比60億87百万円減少の299億58百万円となりました。

営業活動により得られた資金につきましては、売上債権の減少等により92億46百万円の収入（前年同期比52.3%減少）となりました。

投資活動により支出した資金につきましては、アウトソーシング用コンピュータおよびソフトウェア開発等による固定資産の取得等により61億90百万円の支出（前年同期比22.7%減少）となりました。

財務活動により支出した資金につきましては、借入金の返済、コマーシャル・ペーパーの償還等により91億84百万円の支出（前年同期比13.6%増加）となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

昨年来の景気後退による国内事業環境の悪化により、下期以降においても企業のIT投資の回復にはまだ時間がかかると予想されます。

この状況を踏まえ、当期の業績予想につきましては、平成21年5月11日に公表した平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

### (通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	310,000	16,000	15,000	8,200	85.49
今回修正予想 (B)	300,000	16,000	15,500	7,600	79.24
増減額 (B - A)	△10,000	—	500	△600	—
増減率 (%)	△3.2	—	3.3	△7.3	—
前期実績	310,127	15,883	15,116	△8,819	△91.96

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(追加情報)

・ 進行基準の適用範囲の変更

従来、当社のソフトウェアの請負開発契約のうち、連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる原価規模100百万円以上の契約については進行基準を、その他の契約については検収基準を適用しておりました。しかし、当社及び一部の連結子会社のプロジェクト管理体制の見直しを行い、第1四半期連結会計期間に着手したソフトウェアの請負開発契約または工事契約から、より規模の小さな案件についても精度の高い進捗管理が可能となっております。したがって、当第2四半期連結累計期間における進捗部分について成果の確実性が認められる当社および一部の連結子会社の原価規模50百万円以上の契約について進行基準を適用しております。

なお、これにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は557百万円増加、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ192百万円増加しております。

・ 減損会計における資産グルーピング方法の変更

従来、当社グループは、事業用固定資産の減損の兆候把握、減損損失の認識及び測定に関する資産のグルーピングについて、原則として契約形態別の売上区分に基づいて行っていました。

しかしながら、アウトソーシング事業についての今後の事業展開を考慮し、当第2四半期連結会計期間において保有固定資産に関する採算管理の単位を見直した結果、サービスの提供を目的として保有する固定資産については、資産のグルーピング方法を従来の「契約形態別の売上区分」単位から「同一の固定資産を利用する契約群」単位へと変更することにいたしました。また、これと同時に、賃貸機器事業で使用する固定資産についても従来の「契約形態別の売上区分」単位から「顧客別」にグルーピングを行うことに変更しました。

なお、今回のグルーピング方法の変更による財務諸表への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,958	36,146
受取手形及び売掛金	51,130	66,285
有価証券	30	—
商品及び製品	8,575	6,797
仕掛品	6,080	4,709
原材料及び貯蔵品	237	227
繰延税金資産	11,198	10,389
その他	10,271	9,614
貸倒引当金	△209	△481
流動資産合計	117,271	133,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,423	4,565
機械装置及び運搬具（純額）	8,776	10,354
その他（純額）	4,983	4,932
有形固定資産合計	18,182	19,852
無形固定資産		
のれん	3,625	3,733
ソフトウェア	22,243	21,472
その他	69	69
無形固定資産合計	25,939	25,275
投資その他の資産		
投資有価証券	14,453	15,505
繰延税金資産	15,387	16,307
前払年金費用	9,444	12,089
その他	12,150	11,463
貸倒引当金	△584	△636
投資その他の資産合計	50,849	54,729
固定資産合計	94,972	99,858
資産合計	212,243	233,546

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,841	24,927
短期借入金	10,558	12,779
1年内返済予定の長期借入金	16,071	15,033
コマーシャル・ペーパー	7,000	11,000
未払法人税等	811	2,350
事業構造改革損失引当金	4,213	6,161
その他の引当金	604	776
その他	29,266	30,247
流動負債合計	86,367	103,275
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	37,453	40,620
繰延税金負債	819	1,035
退職給付引当金	1,315	1,308
その他の引当金	232	225
負ののれん	46	54
その他	1,996	1,561
固定負債合計	51,863	54,805
負債合計	138,231	158,081
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,483	5,483
資本剰余金	15,475	15,475
利益剰余金	71,975	72,932
自己株式	△19,260	△19,260
株主資本合計	73,674	74,631
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△952	△626
繰延ヘッジ損益	△43	20
為替換算調整勘定	53	13
評価・換算差額等合計	△942	△592
新株予約権	674	600
少数株主持分	606	825
純資産合計	74,012	75,464
負債純資産合計	212,243	233,546

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日)
売上高	146,890	125,869
売上原価	110,530	92,807
売上総利益	36,360	33,062
販売費及び一般管理費	32,242	31,660
営業利益	4,117	1,401
営業外収益		
受取利息	101	76
受取配当金	248	188
その他	158	209
営業外収益合計	508	474
営業外費用		
支払利息	633	540
その他	147	68
営業外費用合計	781	609
経常利益	3,844	1,266
特別利益		
投資有価証券売却益	10	—
貸倒引当金戻入額	—	294
新株予約権戻入益	—	65
受取和解金	423	—
その他	0	22
特別利益合計	433	381
特別損失		
固定資産除売却損	42	43
投資有価証券評価損	62	652
事務所移転費用引当金繰入額	166	—
貸倒引当金繰入額	36	7
その他	27	439
特別損失合計	335	1,142
税金等調整前四半期純利益	3,942	506
法人税、住民税及び事業税	852	631
法人税等調整額	1,552	336
法人税等合計	2,404	967
少数株主損失 (△)	△130	△223
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,668	△237



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,942	506
減価償却費	7,173	6,739
のれん償却額	54	107
負ののれん償却額	△8	△7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△43	6
事業構造改革損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△1,948
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△1,228	△486
受取利息及び受取配当金	△349	△265
支払利息	633	540
売上債権の増減額 (△は増加)	23,919	15,155
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,379	△3,159
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,494	△7,087
その他	2,353	1,755
小計	22,571	11,859
利息及び配当金の受取額	350	270
利息の支払額	△641	△553
法人税等の支払額	△2,899	△2,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,380	9,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△30
有形固定資産の取得による支出	△3,448	△1,407
有形固定資産の売却による収入	169	26
無形固定資産の取得による支出	△4,479	△4,380
投資有価証券の取得による支出	△296	△505
投資有価証券の売却による収入	15	8
その他	33	98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,005	△6,190
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,218	△2,185
長期借入れによる収入	—	2,500
長期借入金の返済による支出	△3,775	△4,628
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△1,500	△4,000
自己株式の取得による支出	△1	△0
ストックオプションの行使による収入	40	—
配当金の支払額	△575	△718
少数株主への配当金の支払額	△36	△5
その他	△21	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,087	△9,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	40
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,288	△6,087
現金及び現金同等物の期首残高	21,603	36,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,891	29,958

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）および当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社グループは、コンピュータ、ソフトウェア、その他関連商品ならびにこれらに関する各種サービスを提供する単一事業区分の業務を営んでいるため、事業の種類別セグメント情報の記載を行っていません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）および当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

連結売上高の合計に占める日本の割合が90%を越えるため、所在地別セグメント情報の記載を行っていません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）および当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

連結売上高に対する海外売上高の割合が僅少なため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

「参考資料」

四半期に係る連結財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 9月30日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
I 売上高				
サービス	108,923	96,376	△ 12,546	△11.5
ソフトウェア	15,187	12,732	△ 2,455	△16.2
ハードウェア	22,779	16,760	△ 6,019	△26.4
計	146,890	125,869	△ 21,021	△14.3
II 売上原価	110,530	92,807	△ 17,723	△16.0
売上総利益	36,360	33,062	△ 3,298	△9.1
III 販売費及び一般管理費				
販売費	3,990	3,720	△ 270	△6.8
一般管理費	28,251	27,940	△ 311	△1.1
計	32,242	31,660	△ 582	△1.8
営業利益	4,117	1,401	△ 2,715	△66.0
IV 営業外収益				
受取利息	101	76	△ 25	△24.8
受取配当金	248	188	△ 59	△24.0
その他	158	209	51	32.2
計	508	474	△ 33	△6.6
V 営業外費用				
支払利息	633	540	△ 93	△14.7
その他	147	68	△ 78	△53.4
計	781	609	△ 171	△22.0
経常利益	3,844	1,266	△ 2,577	△67.0
VI 特別利益				
投資有価証券売却益	10	-	△ 10	△100.0
貸倒引当金戻入額	-	294	294	-
新株予約権戻入益	-	65	65	-
受取和解金	423	-	△ 423	△100.0
その他	0	22	22	-
計	433	381	△ 51	△11.9
VII 特別損失				
固定資産除売却損	42	43	1	3.0
投資有価証券評価損	62	652	589	942.7
事務所移転費用引当金繰入額	166	-	△ 166	△100.0
貸倒引当金繰入額	36	7	△ 28	△80.1
その他	27	439	411	-
計	335	1,142	806	240.2
税金等調整前四半期純利益	3,942	506	△ 3,435	△87.2
法人税等	2,404	967	△ 1,437	△59.8
少数株主損失 (△)	△ 130	△ 223	△ 92	-
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,668	△ 237	△ 1,906	-

※第1四半期連結累計期間から、前連結会計年度まで全額「サービス」に含めておりました連結子会社エス・アンド・アイ㈱の売上高を、「サービス」と「ハードウェア」に区分掲記することといたしました。これにあわせ前第2四半期連結累計期間の売上についても、同社の売上高のうち、15億7百万円を「サービス」から「ハードウェア」に組替えております。

## (2) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年 9月30日)	前連結会計年度末に係 る要約連結貸借対照表 (平成21年 3月31日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
現金及び預金	29,958	36,146	△ 6,187	△17.1
受取手形及び売掛金	51,130	66,285	△ 15,155	△22.9
有価証券	30	-	30	-
商品及び製品	8,575	6,797	1,777	26.2
仕掛品	6,080	4,709	1,370	29.1
原材料及び貯蔵品	237	227	10	4.6
繰延税金資産	11,198	10,389	809	7.8
その他	10,271	9,614	657	6.8
貸倒引当金	△ 209	△ 481	271	-
流動資産合計	117,271	133,687	△ 16,416	△12.3
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
建物及び構築物 (純額)	4,423	4,565	△ 141	△3.1
機械装置及び運搬具 (純額)	8,776	10,354	△ 1,578	△15.2
その他 (純額)	4,983	4,932	50	1.0
有形固定資産合計	18,182	19,852	△ 1,669	△8.4
2. 無形固定資産				
のれん	3,625	3,733	△ 107	△2.9
ソフトウェア	22,243	21,472	771	3.6
その他	69	69	0	0.1
無形固定資産合計	25,939	25,275	663	2.6
3. 投資その他の資産				
投資有価証券	14,453	15,505	△ 1,052	△6.8
繰延税金資産	15,387	16,307	△ 919	△5.6
前払年金費用	9,444	12,089	△ 2,644	△21.9
その他	12,150	11,463	686	6.0
貸倒引当金	△ 584	△ 636	51	-
投資その他の資産合計	50,849	54,729	△ 3,879	△7.1
固定資産合計	94,972	99,858	△ 4,886	△4.9
資産合計	212,243	233,546	△ 21,302	△9.1

科目	当第2四半期 連結会計期末 (平成21年 9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3月31日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形及び買掛金	17,841	24,927	△ 7,085	△28.4
短期借入金	10,558	12,779	△ 2,220	△17.4
1年内返済予定の長期借入金	16,071	15,033	1,038	6.9
コマーシャル・ペーパー	7,000	11,000	△ 4,000	△36.4
未払法人税等	811	2,350	△ 1,539	△65.5
事業構造改革損失引当金	4,213	6,161	△ 1,948	△31.6
その他の引当金	604	776	△ 171	△22.1
その他	29,266	30,247	△ 981	△3.2
流動負債合計	86,367	103,275	△ 16,908	△16.4
II 固定負債				
社債	10,000	10,000	-	-
長期借入金	37,453	40,620	△ 3,166	△7.8
繰延税金負債	819	1,035	△ 215	△20.8
退職給付引当金	1,315	1,308	6	0.5
その他の引当金	232	225	7	3.2
負ののれん	46	54	△ 7	△14.3
その他	1,996	1,561	435	27.9
固定負債合計	51,863	54,805	△ 2,941	△5.4
負債合計	138,231	158,081	△ 19,849	△12.6
(純資産の部)				
I 株主資本				
資本金	5,483	5,483	-	-
資本剰余金	15,475	15,475	-	-
利益剰余金	71,975	72,932	△ 957	△1.3
自己株式	△ 19,260	△ 19,260	△0	-
株主資本合計	73,674	74,631	△ 957	△1.3
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	△ 952	△ 626	△ 325	-
繰延ヘッジ損益	△ 43	20	△ 64	-
為替換算調整勘定	53	13	40	307.2
評価・換算差額等合計	△ 942	△ 592	△ 349	-
III 新株予約権	674	600	73	12.2
IV 少数株主持分	606	825	△ 219	△26.6
純資産合計	74,012	75,464	△ 1,452	△1.9
負債純資産合計	212,243	233,546	△ 21,302	△9.1

## (3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 9月30日)	増減
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期純利益	3,942	506	△ 3,435
減価償却費	7,173	6,739	△ 433
のれん償却額	54	107	53
負ののれん償却額	△ 8	△ 7	0
退職給付引当金の増減額 (△ は減少)	△ 43	6	50
事業構造改革損失引当金の増減額 (△ は減少)	-	△ 1,948	△ 1,948
その他の引当金の増減額 (△ は減少)	△ 1,228	△ 486	741
受取利息及び受取配当金	△ 349	△ 265	84
支払利息	633	540	△ 93
売上債権の増減額 (△ は増加)	23,919	15,155	△ 8,763
たな卸資産の増減額 (△ は増加)	△ 4,379	△ 3,159	1,220
仕入債務の増減額 (△ は減少)	△ 9,494	△ 7,087	2,406
その他	2,353	1,755	△ 597
小計	22,571	11,859	△ 10,712
利息及び配当金の受取額	350	270	△ 79
利息の支払額	△ 641	△ 553	88
法人税等の支払額	△ 2,899	△ 2,330	568
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,380	9,246	△ 10,134
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有価証券の取得による支出	-	△ 30	△ 30
有形固定資産の取得による支出	△ 3,448	△ 1,407	2,040
有形固定資産の売却による収入	169	26	△ 142
無形固定資産の取得による支出	△ 4,479	△ 4,380	99
投資有価証券の取得による支出	△ 296	△ 505	△ 209
投資有価証券の売却による収入	15	8	△ 6
その他	33	98	64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,005	△ 6,190	1,815
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額 (△ は減少)	△ 2,218	△ 2,185	33
長期借入れによる収入	-	2,500	2,500
長期借入金の返済による支出	△ 3,775	△ 4,628	△ 853
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△ は減少)	△ 1,500	△ 4,000	△ 2,500
自己株式の取得による支出	△ 1	△ 0	0
ストックオプションの行使による収入	40	-	△ 40
配当金の支払額	△ 575	△ 718	△ 142
少数株主への配当金の支払額	△ 36	△ 5	31
その他	△ 21	△ 145	△ 123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,087	△ 9,184	△ 1,096
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	40	39
V 現金及び現金同等物の増減額 (△ は減少)	3,288	△ 6,087	△ 9,375
VI 現金及び現金同等物の期首残高	21,603	36,046	14,442
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	24,891	29,958	5,067